

47都道府県プロフィール  
2024年1月～2024年06月

# 大阪府

# 「歓迎すべき」「失踪助長の可能性」、増える関西の外国人材 受け入れ

## 新制度に期待と疑問の声

2024/06/14

技能実習に代わる外国人材受け入れの新制度「育成就労」を創設する技能実習適正化法などの改正案が14日、参院本会議で可決、成立した。外国人材の長期就労にかじを切る今回の法改正。労働力不足に悩む関西の製造業者からは歓迎の声が上がる一方、相次いだ実習生の失踪といった課題の解消につながるか疑問視する声もある。



「育成就労」を創設する改正入管難民法などを可決、成立した参院本会議 = 14日午前

# ラクサリーフにトレビス？ ニッチな作物を狙う大阪の農家、その戦略

2024/04/10

ラクサリーフ、スペアミント、トレビス、フェンネル……。普段聞き慣れない作物だが、実は大阪でも栽培されている。田畑が少ない大阪の都市農業では、細かい需要に目をつけてニッチ（隙間）を攻める農家が活躍している。近鉄富田林駅から徒歩10分。国道近くの雑居ビル2階にベトナム食品店「ショウキュウ ティエンベイカー」の赤い文字が現れる。店内の冷蔵庫にはパクチーやタイバジル、スペアミントといった東南アジアで好んで使われる野菜が所狭しと並ぶ。オーナーの内海将樹さん（25）が府内の農地で育てた野菜だ。

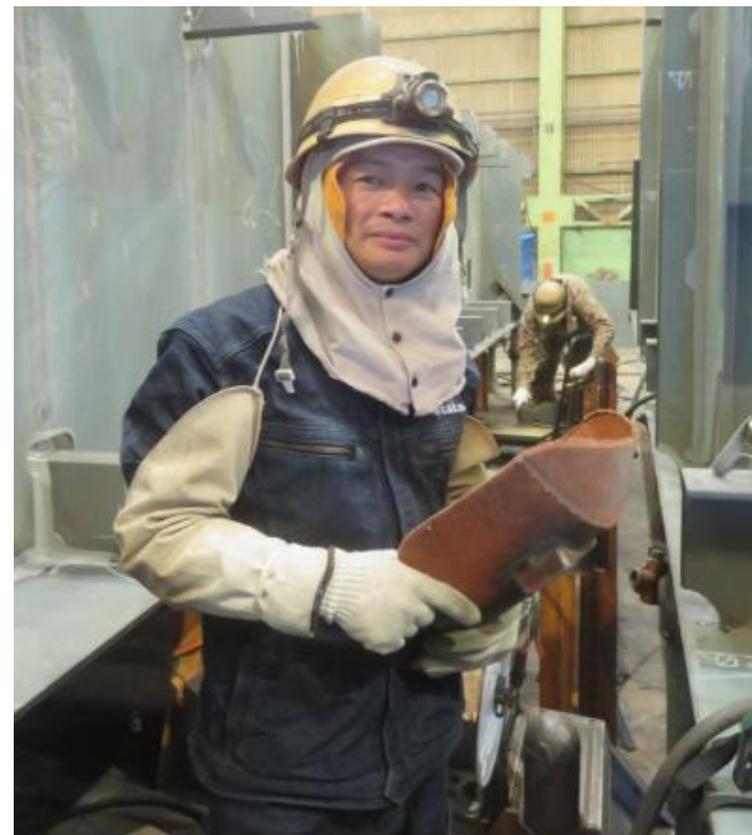


ベトナム食品店「ショウキュウ ティエンベイカー」で、ベトナム野菜を持つ内海将樹さん（右）と妻・チャンズンさん  
=2024年3月12日午後2時55分、大阪府富田林市若松町西1丁目、吉川喬撮影

## 外国人材は「頼みの綱」…選ばれる企業になれるか、中小の経営課題に

2024/05/06

中小企業にとって外国人材の重要度が増している。生産年齢人口の減少という構造的問題も背景に人材不足が深刻化する中、外国人材は頼みの綱だ。また外国人技能実習制度が、長期就労の道を開く形で新制度に切り替わる見通しで制度面でも受け入れは転機にある。一方、外国人材は国内、近隣国の企業同士で奪い合いになるとみられる。魅力ある環境を整え、外国人材に「選ばれる企業」になれるかが、中小の経営力を左右する時代に入る。



## 実習生応援 母国の食で

2024/03/17

「東南アジアから訪れた技能実習生や留学生に、母国の新鮮な野菜を食べてもらって元気になってほしい」。富田林市の内海 将樹しょうき さん（25）は、パクチーや空心菜など東南アジアで多く食べられている15種類の野菜を栽培し、店舗販売しています。「異文化共生の第一歩は食べ物から」をモットーに、外国人が地域に溶け込める環境作りにも取り組んでいます。



## 小6が考えたベトナム「チャー漬け」 職種体験が育むのは「温かさ」

2024/02/23

大阪府摂津市の小学6年生が、ベトナム料理店のメニューを考える課題に挑んだ。市内では外国籍住民のうち、ベトナム国籍の人が最も多い。お互いのことを知ることはもちろん、自分たちの頑張りが地域社会とつながっていることを体験してもらうキャリア教育の一環だ。摂津市の外国籍住民は昨年6月現在で1810人。そのうち、ベトナム国籍が590人と最も多い。外国にルーツを持つ子どもも増えているという。市立鳥飼北小学校の6年生57人は昨年11月から、地元のベトナム料理店「ホンナンクアン」で提供するメニューのアイデアを練ってきた。店には市内の中小企業などで働くベトナム国籍の人たちがよく訪れる。



自分たちが考えたメニューを食べる摂津市立鳥飼北小学校の6年生=2024年2月21日、大阪府摂津市鳥飼野々1丁目、滝坪潤一撮影

47都道府県プロフィール  
2024年07月～2024年12月

# 大阪県

# タジキスタン労働移民雇用省副大臣一行が来訪されました

2024/12/24

2024年12月13日（金）、タジキスタン共和国労働移民雇用省シャフノザ・ノディリ副大臣を筆頭とする訪日団がJITCOを来訪されました。タジキスタン側からは、タジキスタンは急速に人口が増加しており、平均年齢も26歳と若く、労働人口が多い。日本への送り出しに向けて技能や日本語、日本文化などを学べるセンターを立ち上げた旨表明されました。日本側からは、中央アジアは近年、各国と日本との間の対話の積み重ねにより、身近になってきているものの、日本への送り出しに向けては送出し手続きの詳細を細部まで詰めていく必要がある旨伝えました。



シャフノザ・ノディリ副大臣とJITCO八木理事長

# 大阪府の山口副知事、ベンガルールでインド人材の活用について協議

2024/08/01

大阪府の山口信彦副知事一行が7月25日、インド南部ベンガルールを訪れ、インド経営大学院ベンガルール校（Indian Institute of Management Bangalore : IIMB）とインド政府認定技能実習制度送り出し機関のナビス・ヒューマン・リソースズを訪問し、大阪府でのインド人材の将来的な活用について意見交換を行った。一行は7月18～25日にデリー、チェンナイ、ベンガールの3都市を訪問。チェンナイではタミル・ナドゥ（TN）州政府と経済交流に関する覚書を締結し、TN州立アンナ大学で大阪企業説明会を開催した（[2024年7月29日記事参照](#)）。

IIMBは構内に「みずほインド日本研究センター」が設立されるなど、もともと日本との関わりが深い教育機関だ。IIMBはスタートアップエコシステムのハブとしてのベンガールの優位性について説明し、大阪でのインド高度人材の活用の可能性について意見交換が行われた。



ナビスの日本語教育実習生たちと山口副知事（後列右から2人目）らとの交流（ジェットロ撮影）

# 「技術者」夢見て来日したベトナム男性、不法就労迫られ「話が違う」 …ブローカーに食い物にされる高度人材

2024/12/01

ベトナム語で自身の名前が書かれた紙を持った女性が、国際線の出口で待っていた。ベトナム人のグエン・ゴック・ニャットさん（34）（仮名）は3月、「日本でエンジニアとして長く働く」との期待を胸に、関西空港に降り立った。高度な専門人材が対象の在留資格を持ち、名古屋市の設備管理会社で設備点検の技術者として働くためだった。女性が話しかけてきた。日本語はわからない。日本語ができるベトナムの友人に電話をかけて代わりにやり取りしてもらった。車で連れて行かれた先は大阪市生野区の民家。その時は名古屋にいたいと思ひ込み、希望あふれる未来が待っていると疑いもなかった

## 技人国の職種



# 「言葉通じないどうやって雇える」否定も ベトナム人実習生ら警備員に 警備 会社社長を在宅起訴

2024/12/27

不法就労助長の疑いで起訴されたのは大阪市大正区の警備会社社長・山崎善行容疑者（41）です。技能実習生は警備員として働くことが認められていませんが、起訴状によると、山崎被告は、去年1月からことし1月までの間自身が経営する警備会社で技能実習生のベトナム人6人を雇い、警備員として働かせていた罪に問われています。釈放後、山崎容疑者は関西テレビの取材に応じ、**「共同経営していたベトナム人の社長が勝手に技能実習生を雇った」**と自身の関与を否定しました。



# イオン株式会社、特定技能外国人4,000人の受け入れを目指すと発表

2024/07/05

イオン株式会社は、政府の特定技能外国人受け入れ拡大の方針に基づき、2023年から2030年度までに4,000人の特定技能外国人を受け入れる計画を進めています。採用された外国人は食品スーパーでの総菜製造や施設の清掃などを担当し、会社全体の人手不足の解消を目指します。本記事では、日本企業の中でも先導的な活動を行っているイオン株式会社の取り組みと特定技能の採用の可能性について紹介します。



# 日本語学校の留学生が最多「稼げない国」でも日本が選ばれる理由

2024/09/01

大阪市東成区の「えびす日本語学校」は今春、100人以上の新入生を迎えた。開校した2019年には2人だった留学生は、5年で約220人に増えた。同校で最も多いのは中国からの留学生だが、賃金の高い日本でアルバイトに明け暮れるようなかつてのイメージは様変わりしている。「お金を稼ぐより、のんびりと生活をしたい」。中国の高校を卒業して来日した張騰飛さん（19）は言う。「お金より好きなことを追求するのが人生だ」。アニメに関わることをしたいが「才能がないので」別の道を考えているという。いま住む場所に近い大阪府内の私立大への進学を希望している。



「えびす日本語学校」の入学式に、思い思いの服装で参加する留学生たち=2024年5月17日、大阪市東成区、浅倉拓也撮影

# 大阪で『特定技能サミット』開催決定！～東京開催で500名が参加した人気イベントが関西初上陸～

2024/08/09

NPO法人 外国人在留支援コンソーシアムは、東京で2回開催され、合計500名の参加をいただいた『特定技能サミット』を大阪で初めて開催いたします。このサミットは、特定技能制度をテーマに、業種別の受け入れ事例や国別制度の現状を共有する貴重な機会です。参加費は無料ですので、興味のある方はお気軽にご参加ください。サミット終了後には、ネットワーキングを目的とした懇親会も予定しています。この懇親会では、新たなビジネスチャンスや人脈を築ける絶好の機会ですので、ぜひ併せてご参加ください。



NPO法人外国人在留支援コンソーシアム

## 第一回特定技能サミット in Osaka

**参加特典**  
杉田昌平弁護士の育成就労 & 特定技能の制度変更丸わかり資料

2024年9月13日（金）13:00～17:00（懇親会17:15～19:00）

【入場料】無料	【会場】
【懇親会費】5,000円	CIVI研修センター新大阪E604会議室（新大阪駅徒歩1分）
【定員】100名程度	※ 懇親会は同研修センター E705会議室にて開催します

ホームページ: [www.gaikokujinshien.com](http://www.gaikokujinshien.com) メール: [info@gaikokujinshien.com](mailto:info@gaikokujinshien.com)

# 令和6年度外国人介護人材受入支援事業研修を開講いたします

2024/09/12

外国人介護人材受入支援事業研修の開講が決定いたしました。日本人職員向けの研修と外国人職員向けの研修を実施いたします。

日本人職員向け研修・・・外国人介護人材の受入環境の整備や学習支援、概要や習慣、効果的なOJTの方法等についての研修を行います。

外国人職員向け研修・・・外国人介護人材が日本国内の介護現場においてスムーズに就職し、快適に働けるよう、コミュニケーション技術や介護技術等について研修を行ないます。

**外国人介護人材受入セミナー**

受入制度や具体的な取組方法の理解促進を図る「**受入スタートアップセミナー**」と外国人介護人材の定着促進に関する「**定着支援セミナー**」を開催します。  
対象者であればどちらのセミナーもご参加可能です。

参加費 無料

オンライン開催 (ZOOM)

外国人介護人材  
受入スタートアップセミナー

外国人介護人材  
定着支援セミナー

## 2社のノウハウ生かし、即戦力の外国人人材採用を支援

2024/10/24

ICエイジア（東京都豊島区）は創設当初から、外国人専門の人材紹介会社として、迅速な派遣・紹介に加え、外国人人材と企業の双方が安心して働き、受け入れられる手厚いサポートを強みとしている。現在は介護分野での採用・定着支援にも力を入れる。大阪・神奈川で教育研修機関を運営するMARU International（マルインターナショナル、大阪府豊中市）とタッグを組み、介護技術や生活指導の教育を通じて、即戦力となる外国人介護人材を送り出している。



IC エイジア  
吉田茂行社長



マルインターナショナル  
大畑貴之社長

## 機械の安全対策を怠り送検 回転軸の止め具の「型」で違反 岸和田労基署

2024/09/26

大阪・岸和田労働基準監督署は、機械の回転軸の止め具を埋頭型にせず、労働者の安全を確保していなかったとして、化学繊維製造業の庄福工業(株)（大阪府岸和田市）と同社役員を労働安全衛生法第20条（事業者の講ずべき措置等）違反などの疑いで大阪地検に書類送検した。令和5年2月、労働者が機械の回転軸に付属する止め具に巻き込まれて負傷する労働災害が発生している。



# 日本語読めない外国人に日本語で安全教育 判決「事故は会社の責任」

2024/07/31

仕事中に大けがを負ったのは勤務先の安全対策が不十分だったためだとして、大阪府八尾市のベトナム国籍の男性（42）が同市の金属加工会社に約1730万円の損害賠償を求めた訴訟の判決が31日、大阪地裁であった。成田晋司裁判長は「男性が理解できる方法での安全教育がなされていなかった」などとして、約1030万円の賠償を命じた。判決によると、男性は2014年2月ごろから同社に雇用された。15年1月に工場でプレス機に指を挟まれ、後遺症を伴う重傷を負った。



大阪地裁・高裁が入る庁舎=大阪市北区 